

From Yamanashi

JR 東日本輸送サービス労働組合 JTSU-E Yamanashi



輸送サービス労組 山梨支部 情報誌



SNS(X) 開設中！

@jtsue_yamanashi

2024.8.1 No.2

山梨支部第6回定期大会

大会宣言 満場一致で採択！

大会宣言 (案)

JR 東日本輸送サービス労働組合山梨支部は本日、山梨県立地域づくり交流センター大会議室にて第6回定期大会を開催した。

会社施策となっている統括センター、様々な業務の融合・兼務により安全が脅かされ、グループ会社でも死傷事故が発生している。そもそも鉄道は経験職であり、それによって安全が保たれ、適切な状況判断が出来るが想定外の事象が発生する事態となっている。短期間の教育体制に慣れない担務につくと経験が足らず、担務が増える事で今まで積み上げてきた経験は薄れ、不安を持ちながら業務をこなしているのが現状だ。さらに継続して行われているジョブローテーション施策、慣れない異動で体調を崩したり、家庭と仕事の両立が出来ずに退職を考える人もいる。入れ替わりの各職場は異常時の対応能力が落ち、現場の連携が強化されるどころか低下し、何処かがしっかりとしていれば安全と安定は保たれるが…不安定な各職場では厳しく、現場第一・三現主義も消えつつある、トップダウンで施策を進め、現場の管理も声を上げる事が出来ず結果この様な状態となっている。

喜勢社長が見て安全・安定した強い鉄道を構築していくと語っていたが、どうしてこのような状態になってしまっているのか？先ずはしっかりと現場を見て社員の声を聞くこと、原因究明をし、現状把握や職場体制の見直し等は行なわず、過度な効率化、利益優先経営を抜本的に変えていかないとそれは実現しない！

近日、当社が誇る高速鉄道新幹線でも多くの事象が発生している。モーターケースの破損、連結器の亀裂、一歩間違えば大事故になった、つばさの異常滑走等、お客さまの命を守る為に先日、本部大会で新幹線地本が発足した。山梨の地から異動した柴田さん、榎さんも職場は変わっても奮闘している！

組合員数は少なく厳しい現状だが組織としての活動を止めたら労働組合の意味がない！今年度のベースアップは過去最高を実現した。物価高やコロナによる業績低迷を理由に一時的に行われた昇給カットにより現場からの悲痛な声を聞き実現はしなかったが夏季手当での増額交渉、各職場での問題（沿線除草・1.2両化問題等）を団体交渉で会社に問いかけ議員懇談会から国・利用者に対して発信していく、認められた労働運動を守る為に会社からの脱退勧奨、強要！4年4ヶ月に及んだ脱退パワハラ訴訟に国は会社の管理者に対し、不当労働行為を行ったと認められ損害賠償命令にて勝利し使用者責任を問う事となった。八王子パンフ事件・組合員差別事件についても東京都労働委員会、中央委員会を活用し弁護士と共に闘い、様々な横の繋がりで連帯を強化、日本の労働者を強くする。それを見ているメディアも多く「みどりの窓口削減施策」についてニューヨークタイムズはJR 東日本会社ではなく、本質を見極め活動している JR 東日本輸送サービス組合の東京地本に取材を行っている。

このままの状況が加速していくと今後の JR 東日本はどうなるのか？

将来を見いだせない若手の離職は止まらず、安全レベルは更に低下し、要員不足で公共交通機関としての機能も失われかねない。その様な会社にならない為に、組合員一人ひとりが日頃の業務に更に意識を持ち、利用されているお客さま、そして働いている社員、その家族が笑顔に溢れ、元気で働ける JR 東日本を目指し、労働組合の必要性和大切さを周知し、それに賛同してくれる人達の拡大・組織強化を実現するために全ての仲間と共に結集し、胸を張れる輸送サービス労働運動一丸で奮闘していくのではないかと！

以上、宣言する。

2024年7月30日
JR 東日本輸送サービス労働組合
八王子地方本部 山梨支部
第6回定期大会

お客さま、働く社員、家族が笑顔に溢れ、
元気で働けるJR東日本を目指していくため、
運動を仲間とともにつくっていくことを確認！

働きがい・生きがい・心の豊かさを実感できる

職場を全ての仲間であつくりたい！

